

1. 件名：国立大学法人京都大学による核燃料輸送物設計変更承認申請
(JRF-90Y-950K 型核燃料輸送物)に係る面談(5)

2. 日時：令和2年1月8日(水) 16時45分～17時15分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

高野上席安全審査官、山後安全審査専門職、甫出安全審査専門職

国立大学法人京都大学

複合原子力科学研究所 原子力基礎工学研究部門 助教

5. 自動文字起こし結果：

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

6. その他：

なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:28	それでは京都大学宇治ARF90Y950K型の設計変更承認についての打ち合わせヒアリングを行います。京都大学お願いいたします。
0:00:43	はい。京都大学の高橋です。
0:00:46	そうですね。
0:00:48	今回時IFの補正申請を出ささせていただきました、それ2 関連するコメント等をいただきましたので、それについて御説明差し上げるようにしたいというふうに思っております。
0:01:06	佐々木委員。はい、そうしていただいた。
0:01:10	規制庁法でございます。ですね、年末に提出いただいた補正申請の件でございますけれども、
0:01:23	もともと昨年の9月段階ですね。意匠の燃料のスペックですね、腫瘍のほうにの
0:01:36	ウラン量とかですね。UDさウラン23号炉量とかがですね、臨界解析とか、そういうものよりも大きくなってるところで、あくまでも意匠に書かれてるっていうスペックについてはですね、あくまでもこういう燃料に対して、安全解析は、
0:01:54	それ以上の稜なり濃縮度でやってますよということで安全監視構築されるという。我々認識に立っておりますので、そこで小さい値が出てきたので、
0:02:10	その時点で確認ということですねこちらから
0:02:16	コメントを申し上げたという経緯がございます。今回提出いただいたところで、量的な確認をしたところ、今回
0:02:46	ということですね、
0:02:49	中身の確認ということですね、一応中身を日ささせていただいて、意匠のところ、今回の各盤と平板ともにAという二、三号の量が ■■■■■ という記載をいただいています。
0:03:07	ところがまあ臨界解析でトータルをあたりますと ■■■■■ ということで、こうなるとちょっと矛盾が出てしまうというふうに考えておるんですけどもこの辺のようにお考えかというところをちょっと確認させていただきたいと思います。
0:03:29	はい、京都大学の高橋です。
0:03:32	今回意匠のですね記載につきましては、二、三号量の変更を行っております線はですね最も高い。数値をですね記載をしておりましたが、それをですね実
0:03:50	実際に使用する燃料の量に合わせたものに
0:03:54	するというので、各盤燃料議長場で量を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:03:59	についても変更をしておりますので、今回は平板燃料につきましては、今回各盤等平板で一番懲罰ときますHEPAでいきますと、各盤のほうは量としては大きくなるということで今回で1回装置を燃料ということで、
0:04:17	班長版とあわせてちょっと高いほうの記載をしておったというところでございます。
0:04:30	規制庁ホデでございます事情は今、理解いたしましたけれども、やはりそのところですね、一応、
0:04:39	後ろのか、炉章以降の解析のところですね、使われる値がやっぱり下回ってるっていうことは、
0:04:47	説明する上でね、やはり非常に難しいところもあるので、ちょっとどう考えるかということのを少し整理いただきたいと考えております。
0:05:01	次なんですけども、その臨界解析のところでは計算の見直しがされてるところで、
0:05:13	初回申請のときに紹介新設補正の前の段階では、KFT部が一番高い値で0.941というところ、これが0.932に下がってると。
0:05:29	ちなみに全部ここは当然いろんなパラメータスタディを検討いただいとすることで、すべて水没した断状態では前の段階では0.917、
0:05:47	918というのが0.914という値に今回得をしますけども、これっていうのは、やはり臨界解析におけるウラン量のを少し低めにされたということが理由として考えてよろしいものかちょっとお伺いいたします確認したいと思います。
0:06:08	はい、京都大学の高橋です。おっしゃる通りでございます、補正前の辺りはですね、裏に3号につきましては、かなり保守的な値といいますか、ウラン量から、
0:06:22	公称値で換算されていたものをですね、使って解析をしておったためにサンゴ量としてこのような値が最大値になるであろう値を使用しておりました。今回です、申請後にですね。
0:06:36	燃料製造会社等とですね、いろいろと議論をさ、してございましてですね。
0:06:45	その中で実際に作成するであろう燃料、
0:06:49	ここですね、の値を少し保守的なところで見え見積もってですね、この辺りを
0:06:56	採用しております。従って保守的にしたといいますが、前回の補正前に比べて辺りが少なくなっておりますので、
0:07:07	影響で実効増倍率契約という辺りが下がっているということでございます。
0:07:18	三つ目の確認項目としまして、各盤燃料の径FT部ですけども、こちらの低い平板の場合に比べて与えが低く提示されてるところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:07:34	文中では溪流は 0.8158 ということが記載されているんですけども、0.88158 っていうのがどこどこに出てくるかということがこの
0:07:49	補正申請書の中でですね、ちょっと読めなかった読めなかったっていうか見つけられなかったというところなんですけれども、
0:07:59	衣装保証井戸 28 ページで 0.8158 ということが書かれてて、この所炉所Eの 29 ページのところは 0.681 というところになってますけれども、
0:08:15	これはどういう関係があると感考えればよろしいかちょっと確認したいと思います。
0:08:23	はい。分町のあたりはですね最も高い値になるというバスケット飲料ですねバスケット中心に寄せた場合の実効増倍率というのを記載しておりました。聾も 8 章はですね、燃料が、
0:08:38	各グリッドの中心にある場合の値を書いておりますので、
0:08:44	このような違いが出ているというところでございます。
0:08:51	幾何学的な違いということですね。
0:08:55	というふうに考えればよろしいんですか。
0:08:59	企画的っていうかアドレスが違うっていうか、
0:09:04	じゃあのアドレスの違いとあとは、こちらは冠水中心の冠水時なんていうんですけれども、
0:09:13	0.81、
0:09:15	のところにつきましては
0:09:20	いろんなパラメータを振った中で、最も高い値ということで記載しております。
0:09:31	非常に混乱をお示し冠水維持ということがあって例えばこちらのほうに平板のほうはね、二つ与えを変えて、先ほどの 030.9325 ですかね、レーザー932 と。
0:09:48	優待いう値とが出していただいているという絵で 0.914 号という義務 14 という値が併記されているというところで
0:10:01	そちらの各盤のほうが出る値とちょっとどうですかね。
0:10:08	表の接触がとれないというところがあるんで。
0:10:11	ちょっとどうするかまだちょっと御検討いただければと思います。
0:10:16	承知いたしました。
0:10:19	番目なんですけれども、
0:10:22	どう。
0:10:24	労働省E-7 表のところ解析対象の燃料要素というところで今回のKUCAの各盤及び平板燃料ともに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:10:41	いうふうにサンゴの濃縮度が ■■■■■ という記載をいただいているんですけども、ここ、この ■■■■■ の意味等、要は他の例えばKURの 20%の燃料の意味合いっていうのは、
0:10:56	整合がとれてるんでしょうか。
0:11:01	巨大な仮設等KURという意味でいきのその他との整合という意味では、
0:11:09	もともとの補正前のあたり 20%のほうが妥当なのかもしれません。今回 ■■■■■ ■■■■■ というような対応を記載した理由としては、より正確なたいと。
0:11:21	いうことで公称値としてはですね、この辺りが今、
0:11:25	公称値になっておりますのでそれを入れ込んだというところでございます。
0:11:33	それで表との整合という意味では確かに補正前の方が、
0:11:38	より自然、自然というとなれかもしれません、
0:11:41	いいのかという気はします。
0:11:50	どのような表現をされるかということはどう
0:11:54	市申請された共同大学さんのお考えにも、もう
0:12:02	ということになると思うんですけども、やはり非常にちょっと同じような意味合いで
0:12:09	トータルのところ、公称値と書かれて、他のものと意味が違うところ、ここは逆に言うと非常に
0:12:18	なんだろうという話。
0:12:21	というか、一つの表の中でね、違う意味を持つてるところが
0:12:26	ちょっと気になりますので、この辺についてもちょっと表現どうされるかということとはちょっとご検討いただきたいと思います。
0:12:40	よろしいですか。
0:12:42	ました。
0:12:44	それと、もう、もう 2 点ほどちょっと今日もやはりして確認してたんですけども、安全解析のところではないんですけども、まずマネジメントシステムのところ、
0:13:02	ですけども、
0:13:07	今回の変更申請度ところですね、
0:13:17	これか。
0:13:19	はい。
0:13:22	八章。
0:13:24	場所

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:13:50	今回すべて研究所ということで、京都大学さんの複合原子力科学研究所というふうに、これは要はもともとその学長 3 大学の直轄組織というところが、
0:14:07	の下でこういう組織があって、この組織のもとで、すべてのマネジメント活動がなされるという認識でよろしいのでしょうか。
0:14:18	京都大学の高橋です。おっしゃる通りでございます京都大学の中の比 1 部門 1 部署ということで京都大学を現象か研究所というのがございましてその中での品質マネジメントを行っていくというところでございます。
0:14:37	確認でございますけども、ということで
0:14:42	要は研究所がすべて
0:14:47	品質品質に関する活動を統括すると。
0:14:51	というふうに
0:14:54	最初の
0:14:56	これ、この変更申請を出されるにあたって、
0:15:02	今の京都大学さんのその核燃料物質の輸送に関わる少々が
0:15:11	この原子力科学研究所
0:15:15	に
0:15:17	になったと所掌がなったということでよろしいですか。
0:15:24	京都大学の高橋です。えーとですね、組織としてはですね、
0:15:32	早朝等も含まれておりますので、大学の
0:15:39	早朝クラスまで入ってくるんですけども、品質マネジメントですね、
0:15:47	品質保証部、
0:15:49	観点につきましては、
0:15:52	その 1 部門である共同退学の複合原子力科学研究所の中で閉じると。
0:16:02	いうことでございます。
0:16:06	はい。
0:21:38	はい。
0:21:43	とですね規制庁のほうですけれども、
0:21:48	2 章のですね、
0:21:51	第 1 秒の発送前検査で容量のところの収納物検査なんですけれども、これについてですね、確認項目ということについてはですね、衣装、
0:22:05	の異常で宣言したものの通りということの確認ということになりますので、それに見あった表現に、
0:22:15	しておくべきと考えております。
0:22:19	ちょっとご検討いただければと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:22:24	京都大学の高橋です。承知いたしました。
0:29:46	規制庁コウノです。それでは1今、こちらから事実確認をさせていただいた内容について記載の適正化、それから内容に矛盾がないか、そこを確認いただいて、
0:30:03	必要であれば、補正を出していただくということで、記述といたしましては、今月、
0:30:16	いや、できるだけ速やかにということで、こちらの方にご連絡いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
0:30:27	京都大学の高橋です。承知いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。